



2016年12月14日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代表者名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード: 7779 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役コーポレート
部 門 責 任 者 宇賀 伸二
(電 話: 029-869-9981)

当社に関する調査レポートについての見解 (その4)

2016年12月14日付発行の米国シトロン・リサーチ (以下、「シトロン社」) によるレポート (以下、「12/14 レポート」) で、当社に関する追加見解が示されておりますが、当社としては、シトロン社の12/14 レポートは事実誤認や全体の文脈を無視した一部の情報だけの強調といった不適切な部分等を含む同社独自の見解に基づくものであって、同社が2016年8月15日、2016年8月25日及び2016年10月5日 (いずれも米国時間) に発行した調査レポートと同様、投資家を無用に惑わせる非常に問題のあるものと考えております。12/14 レポートに対する当社としての見解は以下の通りです。

1) 「Nature Outlook : 再生医療」の当社紹介記事が Sponsor Feature であることは自明

12/14 レポートにおいて、シトロン社は、当社が2016年12月8日に発信した「Nature Outlook : 再生医療」における当社紹介記事について、当社が「ネイチャーマガジンで、医療の飛躍的進歩として紹介されたというプレスリリースを公開」し、また、日本語版ホームページにおいては、当社の記事がスポンサーされたものであることを隠している等との見解を述べております。しかしながら、当社日本語版ホームページ上でもリンクを公開している「Nature Outlook」において、当社は Sponsors の一つとしてロゴが表示されており、また当社紹介記事においても、「SPONSOR FEATURE」と明記されていることから、当社紹介記事が Sponsor Feature であることは自明であり、シトロン社の主張は事実と反するものであります。なお、当社は、「Nature Outlook : 再生医療」に当社を紹介する記事 (Sponsor Feature) が掲載されていることを「メディア掲載情報」としてお知らせしたものであり、「プレスリリース」として公開したものではありません。

「Nature Outlook」再生医療記事

<http://www.nature.com/nature/outlook/regenerative-medicine/index.html>

当社紹介記事 (2016年12月8日)

「New medical technology: Cybernic treatment as a functional regenerative treatment」

<http://www.nature.com/nature/outlook/regenerative-medicine/pdf/CYBERDYNE.pdf>

2) 2017年3月期の上期売上は前年比で増加しており、下期は大幅増加の見込

12/14 レポートにおいて、シトロン社は、当社の第2四半期の売上が前年同期比で減少、HAL福祉用等（下肢タイプ）の稼働台数が前年同期比で減少等、当社の売上が減少傾向にある等の見解を述べておりますが、当社としては、以下の理由により、12/14 レポートにおける見解は全体の文脈を無視した一部の情報だけの強調による不正確なものであると考えております。

第2四半期の前年同期比較においては、前年同期に一時的な製品販売があったために売上は減少しましたが、稼働台数の大幅な増加に伴い、レンタル売上高は大幅に増加しており、これに伴い、当社の2017年3月期の上期売上高は、着実に増加（前年同期比8.3%増）しております。

また、2017年3月期の下期（第3四半期及び第4四半期）においては、医療用HAL（公的医療保険の開始）や介護支援用HAL（厚生労働省の補助金）の導入の増加により売上の大幅な増加を見込んでおります。

なお、耐用年数経過後の旧モデル廃棄によるHAL福祉用等（下肢タイプ）稼働台数の若干の減少を除いて、当社製品の稼働台数は着実に増加しております。

3) 米国食品医薬品局（FDA）への申請経緯やコミュニケーションに関しては、繰り返し説明済み

12/14 レポートにおいて、シトロン社は、2016年11月14日付の第2四半期決算短信において、当社のFDAに関する発言に再度の変更があり矛盾していると主張しておりますが、当社は、以下の通り、FDA申請の経過に加えて、FDAとのコミュニケーションの経緯をすでに開示しており、2016年11月7日の当社リリースもこれまでの当社の説明と矛盾するものではありません。

● 2016年8月19日「当社に関する調査レポートについての見解」

「当社は、現在、将来の米国事業展開において、既存機器との差異を明確に認知してもらうための方法を検討しており、FDAと対話を重ねております。」

http://www.cyberdyne.jp/company/download/20160819_teki_jikai_ji.pdf

● 2016年11月7日「ニュースリリース」

「米国FDAに対して、革新的サイバニック治療を行う医療機器として医療用HAL®のPre-Submissionを提出～継続的な対話によるFDA側の理解の深化を踏まえ、他に類のない革新的治療機器としての承認に向けた手続きを開始～」

http://www.cyberdyne.jp/company/PressReleases_detail.html?id=5022

当社は、株主や投資家の皆様との対話を重視しており、誤解があればこれを解いていく努力を惜しみませんが、事実と異なる情報や全体の文脈を無視した一部だけの情報を殊更に発信する行為には、市場を惑わすものとして毅然として対応して参りたいと考えております。

株主及び投資家の皆様におかれましては、慎重な投資判断を行っていただきますようお願い致します。

以上